

志賀原子力発電所 1号機 原子炉格納容器内における漏水について

平成15年9月25日
北陸電力株式会社

第8回定期検査中、本日午前11：00頃、原子炉格納容器内において、制御棒駆動機構の取り付け作業のため同機構の閉止板の締め付けボルトを緩めたところ、原子炉水が原子炉格納容器内に漏れました。

その後、閉止板の締め直しを行い、漏れは止まりました。

漏れた水の量は約4.3m³、放射エネルギーは約430万ベクレルでした。漏れた水は液体廃棄物処理システムに回収しました。

原因は、本来取り外すべき制御棒駆動機構の閉止板とは異なる位置の閉止板の締め付けボルトを緩めたためです。

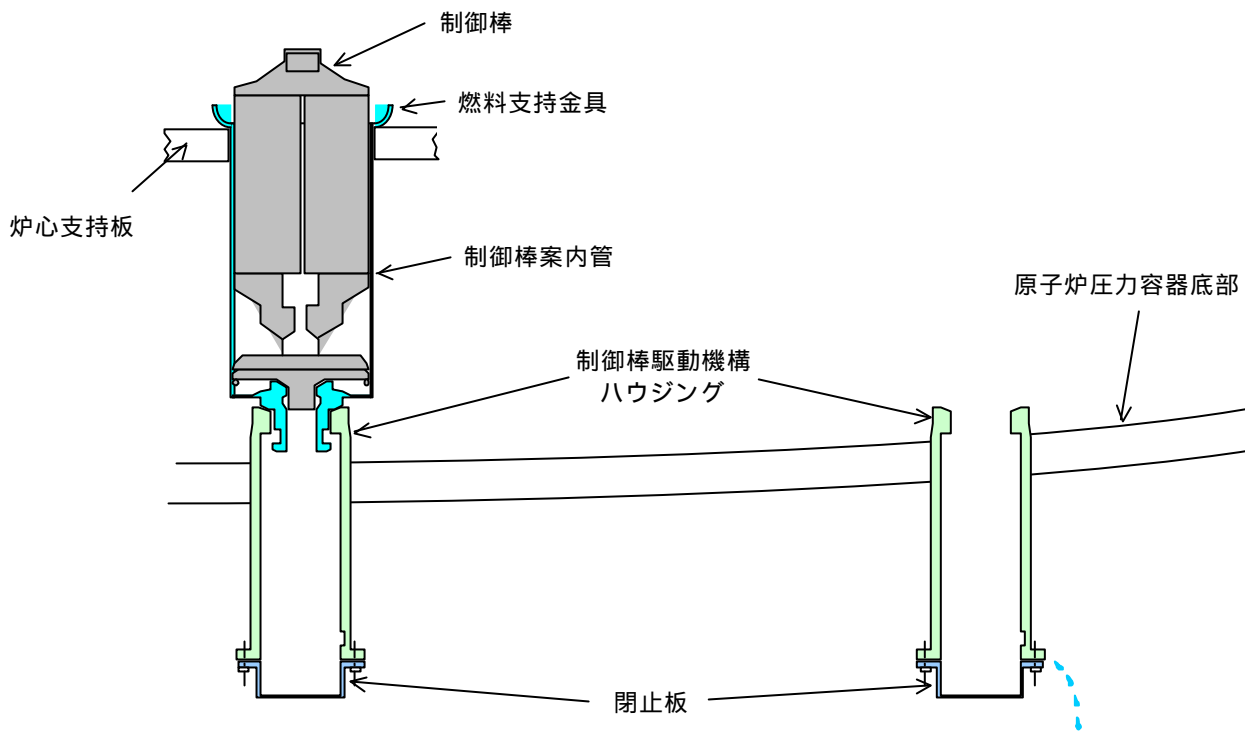
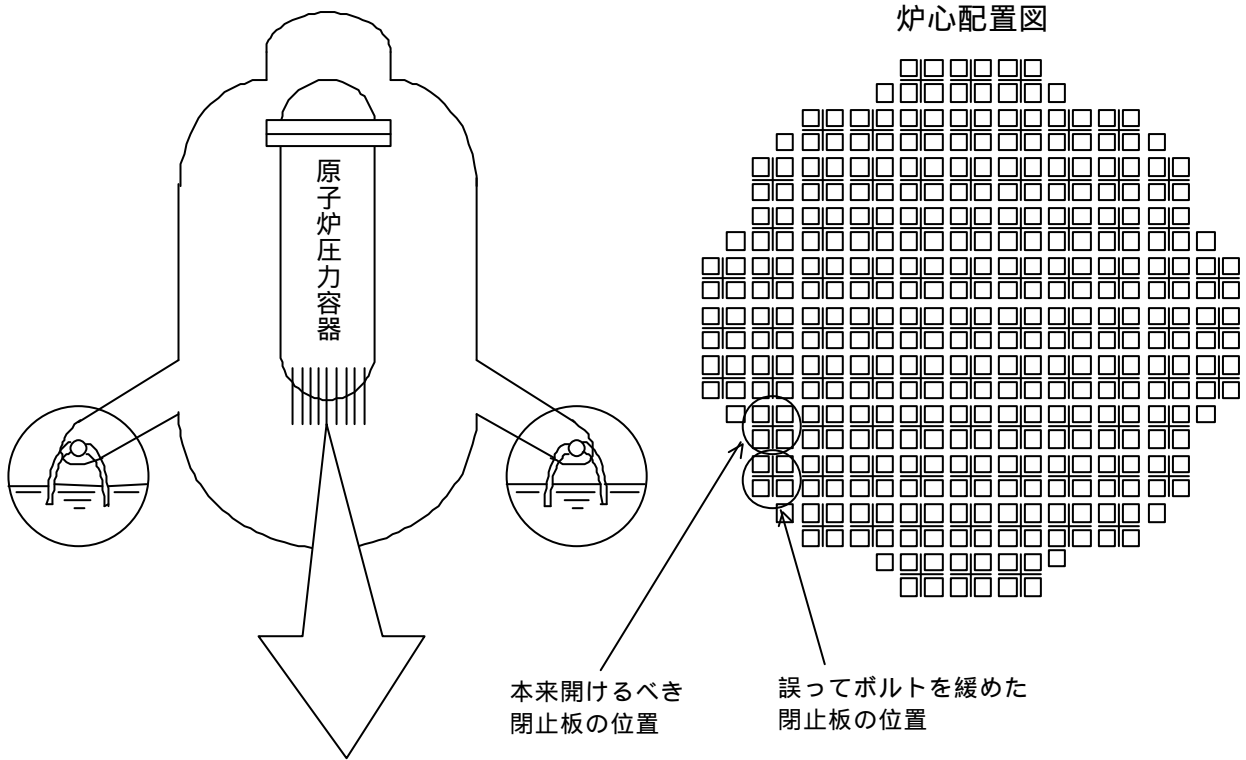
なお、作業員2名に漏れた水がかかりましたが、本作業は原子炉水が体にかかる可能性がある作業であることから、作業員はあらかじめ防水作業服を着用しており、放射能による身体汚染はありませんでした。

また、外部への放射能の影響もありませんでした。

今後は、閉止板取り外し作業においてはその位置確認体制の見直しなど再発防止策を策定の上、作業管理の徹底を実施してまいります。

本事象は、法律、通達および安全協定に基づく報告対象ではありませんが、連絡基準に係る覚書の連絡区分に基づき石川県、志賀町及び富来町に連絡いたしました。

以上



左図の閉止板を開けるべきところ、隣の閉止板のボルトを緩めたため、水がこぼれた。

漏水の状況